

平成 30 年 11 月 9 日

各 位

株式会社 東 和 銀 行

平成 31 年 3 月期第 2 四半期（単体）決算について

【単体決算概要】

（単位：百万円）

	平成 31 年 3 月期 第 2 四半期	平成 30 年 3 月期 第 2 四半期	前年同期比
実質業務純益	4,014	7,242	△3,228
コア業務純益	3,985	6,524	△2,538
経常利益	3,835	7,235	△3,400
四半期純利益	3,335	5,214	△1,879

平成 31 年 3 月期第 2 四半期当初予想	経常利益 3,000 百万円	四半期純利益 2,000 百万円
平成 31 年 3 月期第 2 四半期実績	経常利益 3,835 百万円	四半期純利益 3,335 百万円
進捗率（第 2 四半期当初予想）	127.8%	166.7%
※平成 31 年 3 月期通期業績予想	経常利益 6,000 百万円	当期純利益 4,000 百万円

預貸金について、預金は前年同期比 226 億円増加の 1 兆 9,856 億円、貸出金は前年同期比 405 億円増加の 1 兆 4,319 億円となり、順調に推移いたしました。

損益状況については、前年度計上していた国債等債券売却益などが減少したこと、実質業務純益は、前年同期比 3,228 百万円減少の 4,014 百万円、コア業務純益は同 2,538 百万円減少の 3,985 百万円となりました。これにより経常利益は同 3,400 百万円減少の 3,835 百万円、中間純利益は同 1,879 百万円減少の 3,335 百万円となりました。

自己資本比率は、第 2 四半期利益を着実に計上したものの、平成 30 年 5 月 11 日に公的資金 200 億円を返済したこと、単体が前年同期比 1.58 ポイント低下の 9.75%、連結が同 1.59 ポイント低下の 9.88%となりました。

金融再生法開示債権比率は、前年同期比 0.81 ポイント低下し 2.47%となりました。

（参考）

【連結決算概要】

（単位：百万円）

	平成 31 年 3 月期 第 2 四半期	平成 30 年 3 月期 第 2 四半期	前年同期比
経常利益	3,262	7,462	△4,200
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,742	5,381	△2,639

平成 31 年 3 月期第 2 四半期当初予想	経常利益 3,000 百万円	四半期純利益 2,000 百万円
平成 31 年 3 月期第 2 四半期実績	経常利益 3,262 百万円	四半期純利益 2,742 百万円
進捗率（第 2 四半期当初予想）	108.7%	137.1%
※平成 31 年 3 月期通期業績予想	経常利益 6,000 百万円	当期純利益 4,000 百万円

以上